



## 発動の目安



- ※ ①～②の各指標を踏まえ、「注視すべき項目」の状況も加味した上で、市町村や専門家の意見も参考にして総合的に判断し、発動を決定する。
- ※ 「福岡コロナ警報」、「福岡コロナ特別警報」の発動後の県民・事業者に対する要請内容については、その時点の国の基本的対処方針等を踏まえ、感染状況や医療のひっ迫度等を勘案し、その都度検討する。
- ※ なお、緊急事態措置やまん延防止等重点措置の適用を国に要請する目安については、これまでに示されている国の考え方やその時点の感染状況・医療のひっ迫度等を踏まえてその都度検討する。

主な指標	 福岡コロナ警報発動の目安	 福岡コロナ特別警報発動の目安
①新規陽性者数	7日移動平均 <sup>(注1)</sup> の増加傾向が継続	7日移動平均 <sup>(注1)</sup> の増加傾向が継続
②病床使用率	15%以上	50%超 または 50%超となることが見込まれる
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移</li> <li>● 地域別の感染状況</li> <li>● 重症病床使用率の推移</li> <li>● プレークスルー感染の動向</li> <li>● 流行している株の特性や新たな変異株の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移</li> <li>● 地域別の感染状況</li> <li>● 重症病床使用率の推移</li> <li>● プレークスルー感染の動向</li> <li>● 流行している株の特性や新たな変異株の動向</li> </ul>

注1) 直近7日間の新規陽性者数の合計を7で割った数

## 解除の目安

- ※ ①～②の各指標を踏まえ、「注視すべき項目」の状況も加味した上で、市町村や専門家の意見も参考にして総合的に判断し、解除を決定する。
- ※ 「福岡コロナ警報」、「福岡コロナ特別警報」の解除後の県民・事業者に対する要請内容については、その時点の国の基本的対処方針等を踏まえ、感染状況や医療のひっ迫度等を勘案し、その都度検討する。
- ※ なお、緊急事態措置やまん延防止等重点措置の解除を国に要請する目安については、これまでに示されている国の考え方やその時点の感染状況・医療のひっ迫度等を踏まえてその都度検討する。

主な指標	 福岡コロナ警報解除の目安	 福岡コロナ特別警報解除の目安
①新規陽性者数	7日移動平均 <sup>(注1)</sup> の減少傾向が継続 または 微増傾向や高止まりであっても医療への負が高まるおそれが低い	7日移動平均 <sup>(注1)</sup> の減少傾向が継続 または 微増傾向や高止まりであっても医療への負が高まるおそれが低い
②病床使用率	20%未満 または 20%未満となることが見込まれる	50%以下 または 50%以下となることが見込まれる
※注視すべき項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移</li> <li>● 地域別の感染状況</li> <li>● 重症病床使用率の推移</li> <li>● 流行している株の特性や新たな変異株の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規陽性者数(1週間の合計)の今週先週比の推移</li> <li>● 重症病床使用率の推移</li> <li>● 流行している株の特性や新たな変異株の動向</li> <li>● その時点で示されている緊急事態措置やまん延防止等重点措置の解除に関する国の考え方</li> </ul>

注1) 直近7日間の新規陽性者数の合計を7で割った数

国のレベル分類、福岡コロナ警報、県民・事業者に対する要請の対応表

国のレベル分類	レベル0 (感染者0レベル)	レベル1 (維持すべきレベル)	レベル2 (警戒を強化すべきレベル)	レベル3 (対策を強化すべきレベル)	レベル4 (避けたいレベル)
	新規陽性者数ゼロを維持できている状況	安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況	新規陽性者数の増加傾向が見られ、一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負荷が生じはじめているが、段階的に対応する病床数を増やすことで、医療が必要な人への適切な対応ができていく状況	一般医療を相当程度制限しなければ、新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなると判断された状況	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況
	(レベル上昇の目安)	—	新規陽性者が散発的に発生	福岡コロナ警報発動	感染状況等を踏まえ総合的に判断
(レベル下降の目安)	新規陽性者数ゼロが継続	福岡コロナ警報解除	感染状況等を踏まえ総合的に判断	感染拡大がピークを越え確保病床で対応可能	—
福岡コロナ警報	(なし)		警報	特別警報	
県民・事業者に対する要請(※)	県独自措置 (基本的な感染防止対策の徹底等を含む)		まん延防止等重点措置	緊急事態措置	

※ 県民・事業者に対する要請内容については、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ることができるよう、その時点の国の基本的対処方針等を踏まえ、感染状況や医療のひっ迫度等を勘案し、その都度検討することとする。  
 ※ 緊急事態措置やまん延防止等重点措置の適用・解除を国に要請する目安については、これまでに示されている国の考え方やその時点の感染状況・医療のひっ迫度等を踏まえてその都度検討することとする。